

町内会



市内には282の町内会があり、住みよいまちづくりを積極的に推進しています。その重要な役割を果たす町内会を取りまとめる21の地区連合町内会について、順に紹介します。

上宝地区連合町内会

地区会長の一言



和田 ひろお さん

上宝町連合町内会は、高原川、蔵柱川、双六川沿いに点在する8町内会から構成されています。3年前は11あった町内会も、過疎化、少子化の影響で単一町内会として機能することが困難になったため、最寄りの町内会との合併によって今日に至っています。上宝地区は典型的な農業地域ですが、近年の高齢化によって、耕作放棄地が目立つようになってきています。これも

若者の定着が厳しいことを如実に表している現象です。このような現状を打破するために、最重要課題との位置付けで高山市街地に最短でつなぐ十三墓峠を含めた改良促進、中部縦貫自動車道の旧上宝村中央部への誘致について要望活動を続けています。



きらり輝く地域活動☆ 伝統芸能の継承

上宝町で力を入れている事業に、地元で伝わる「みなと」、「子供の天神様祭り」の継承があります。特に「みなと」は、若者の中にはなかなか受け入れられなかったようですが、昨年の発表会後次第に浸透して、今年は若者も含めて300人を超す観客が訪れる盛況な発表会となりました。

一方、「子供の天神様祭り」は、少子化の影響で開催できなくな



祝い唄の発表

るような町内会が増えてきている中で、現在本郷、吉野および在家の3町内会では、稽古から本番まで子どもたち独自の企画運営によって行われています。今後もこの地域の伝統を継続していけるよう努めていきたいと考えています。

● 私たちの地区自慢 ● 共同精神による 環境整備

過疎化、高齢化が進行する中で、これまで恒例として行ってきた道路沿線の草刈り作業ができなくなってきた町内会が出てきました。町内会の要望もあり、連合町内会として平成19年度から役員に呼びかけて草刈り作業を実施していま

す。昨年度も前年以上の多くの皆さんのご協力により作業を実施し、予定以上の広範囲な草刈り作業を済ませることができました。年齢の違いや町内会の枠を超えた交流の輪が広がってきたことは大変意義深いものがあります。今年度も草刈り作業の準備を進めており、「自分の地域は自ら綺麗に!」、 「町内会の垣根を飛び越えて共同精神を!」をスローガ



清掃活動の様子

ンに、生き生きとした地域づくりを目指しています。

住みよいまちづくりは
みんなの手で!

《地域通学の安全防犯活動》

町内会では、悲さんな交通事故の防止や、子どもが安心して通学できるように見守り活動を行っています。

町内会未加入の方は、ぜひ加入をお願いします。

問合せ先

町内会連絡
協議会事務局
35-3412